



明訓同窓

発行所

新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇 夫

- 一 母校愛精神の昂揚
- 二 伝統保持と敬愛
- 三 会員の連繋と相互扶助

ご挨拶

— 母校の大活躍に

敬意と感謝 —



同窓会長

渡 辺 惇 夫

夏の記録的な猛暑も過ぎ、漸く日増しに秋の深まりを感じる頃となりました。同窓会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動、並びに母校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。お蔭様で、我が同窓会も多くの会員を擁し、年々活動実績を積み上げ、その存在感は年々増

しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価をいただいておりますことは我々の大きな喜びであり、誇りでもありません。

このことは偏に会員皆様の変わらぬ母校愛と、日頃のご努力の賜ものであるとともに、加えて学校ご当局をはじめ、関係者の皆様のご支援とご協力があってのことです。

ここに改めて深く感謝の意を表する次第であります。今後我々は、先輩各位の築いた輝かしい実績と母校の建学の精神

を大切に継承しながら母校の卒業生としての誇りを持ち、同窓会発展のため努力していかねばなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正10年の創立以来、実に90年近い歴史を有し、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねてまいりました。そして、今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設された新潟明訓中学校も4年目を迎え、確実に中高一貫教育の実績をあげております。また、最近の母校の在校生の皆さんの文武両道に秀でた活躍は、我々同窓生に新たな感動と勇気と自信、そして誇りを与えてくれており感謝しております。特に、部活動に於いては運動部、文化部とも全国レベルで大活躍しており、中でも野球部の活躍は目覚まし

いものがあります。去る8月に行われた全国高等学校野球選手権大会に於いては、通算6度目の甲子園出場を果たし、初戦から大舞台に臆することなく伸び伸びとした堂々たるプレーを展開し、強豪を次々と打ち破り、初の8強入りを決め、準々決勝進出を果たしたことは正に快挙という他はありません。そして、そ

綱 領

- 一 母校愛精神の昂揚
- 二 伝統保持と敬愛
- 三 会員の連繋と相互扶助

の準々決勝戦では、今まで春夏合わせて3回も優勝している名門、報徳学園との対戦となり、残念ながら惜敗はしましたが、その互角の戦いぶり

は最大級の賞賛に値するものであります。この度の野球部の大活躍は、母校の名声を高めたことは言うに及ばず、その歴史に輝かしい不滅の1ページを記す偉業であり、我々同窓生一同に対しても大きな自信と誇りを与えてくれました。心から感謝をいたします。

今、我が同窓会としてもこの母校の大活躍に相應しい体質とその拡充強化を求められており、そ

人生を楽園に



理事長

伴 昭 彦

同窓会員の皆様にはお元気で御活躍のことと心からお喜び申し上げます。同窓会の活動も益々活発

になり、他方、学校も学業(進学)スポーツその他の活動にも目覚ましい活躍を続け、順調に成果

れに向けての意識改革も必要とされております。幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を知っていただくとともに、大きな関心を持っていただき、互いに同志的意識を更に高め、協力的体制を確立することにより同窓会の活性化と発展に繋げていかななくてはなりません。

先般も、役員会や常任委員会等で今後の同窓会のあり方や、発展の方向性を探り、協議を重ねているところであります。今後ともご指導とご協力を心からお願ひ申し上げます。

最後に母校のますますの発展と、同窓会員の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

を挙げており、誠に喜ばしい次第です。これもひとえに同窓会員の皆様の日常における本校に対し

ての御支援の賜物と感謝申上げております。

扱って私達が人間として生きて行く上で職業をもち人生の大半の時間を職業に費やしているのが、これを楽ししくやれるかどうかで毎日が随分違ってくるでしょう。ゴリキーの「どん底」の中の社会の落伍者サーチンは「仕事を楽しみならば人生は楽園だ。仕事は義務ならば人生は地獄だ」と言っています。仕事を楽しくやるのと義務としてやるのでは大違いです。私達は何のために働いているのでしょうか。松下幸之助氏は「会社は社会に貢献するためにあるんだ」と、「利益が上がらなければ社会に貢献していない、何もやっていない」ということになる、一生懸命やって利益が上がないというものは罪悪だ」とまで言われたそうです。そう言われたらそうかなどという気がしてきます。それはお互いの能力を伸ばせるだけ伸ばしてその仕事に打ち込んでいくことでしよう。

松下幸之助氏は人の欠点を挙げつらうのではなく、長所を生かし伸ばしてゆくということの重要性を考えておられたというのです。人には長所がありこれを生かしてゆけば立派な仕事ができます。小泉信三氏は「人生は不可能を可能にしてゆく。そういう過程である」と言われました。それは私達の仕事の上でも同じことであり、不可能と思

われることを可能にしてゆくような努力も必要でしょう。組織として事業を遂行してゆく上でも全く同じことですが、国家であれ軍隊であれ企業であれ立派な組織が亡びる原因は、第一に、機能組織が共同体となつて外部と別の考え方となること、第二に、社会の変化とかげ離れてしまうこと、第三は、組織が肥大化し硬直し、具体的には、手続が繁雑化、形式化し、会議が多くなり安全性という発想が多くなる。これは大企業病とも呼ばれます。これを脱却するのはトップが現場を常に見まわって把握していることだそうです。机

上作戦と実際の仕事との間には必ずズレがあるものでこのギャップを埋めるのが、現場感覚と、経験や勘です。トップのリーダーシップと言い、実行力というのは、独断専行といわれる程の強い意思によらなければ変化も進歩も望めないでしょう。

中間管理職でも、現場を把握して外の変化に適切に対応して組織を柔軟に活動できるように部下を指導してゆけば、不可能を可能にしてゆくことができ、その仕事を楽しくむことができるようになるでしょう。日常の仕事がすべて楽園という訳にはゆかないでしょうが、それも工夫と努力次第かと思えます。皆様の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

「さわやかで、ねばり強い」 戦いに感動!



学校長
野本 憲雄

口に出したからといって涼しくなるわけでもないのに、「暑い!暑い!」を連発したくなるほどの夏でした。113年ぶりの暑さだったとか、ととにかく暑い夏でしたが、明訓同窓会の皆様には、恙無くお過ごしのことと拝察

申し上げます。今年の夏は、明訓野球部の「さわやかで、粘り強い」戦いに、私も関係者みんなが、大きな喜びと勇気と感動をもらいました。明訓野球部は、第1シードの重圧にもめげず、

追いつかれれば突き放し、逆転されれば再逆転して突き放す、すばらしい戦いぶりです。3年ぶり、6回目の夏の甲子園出場を果たしてくれました。

超満員の一塁側スタンドに、明訓が新潟の皆さんから支持されていること、長年にわたって築いてきた伝統の重さとありがたさを実感しました。また、大きな声で、スタンドのみんなが歌った校歌に本当に熱くなりました。

甲子園では、いずれも甲子園で優勝、準優勝の実績がある強豪校を相手に堂々と戦い、京都外大西高校に5対3、西日本短大付属高校に1対0で勝利し、初めてのベスト8に進出してくれました。猛暑を吹き飛ばすほど大きな声で、応援席のみんなが歌った校歌は本当に感激でした。

準々決勝では報徳学園高校に1対2で惜しくも敗れ、本校野球部の目標である甲子園での3勝を逃し、本当に残念でしたが、甲子園での勝ち数を6勝に伸ばしました。素

晴らしい甲子園の夏をありがとうと言いたいと思います。

甲子園での、明訓野球部の「さわやかで、ねばり強い」戦いぶりは、多くの甲子園ファンに感銘と強烈な印象を与えたと思います。また、スタンドの応援が素晴らしかったと、全国の多くのみなさんからお褒めの言葉を頂いています。明訓の素晴らしさだと思えます。

明訓野球部の皆さんには、この結果に奢ることなく、佐藤監督のおっしゃる「千の準備」の心がけで一層鍛錬し、さらに進化して、甲子園での3勝、そして頂点を目指して、これからも頑張ってください。これからも頑張ってください。

最後になりましたが、母校愛に燃え、後輩を思い、猛暑のハード・オフスタディアム、甲子園に駆けつけて熱烈に応援して下さった皆様、暑い中募金活動に汗を流して頂いた皆さま、暖かい激励、ご厚志を頂きました皆様、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

関西新瀉明訓会総会・懇親会開催 「設立20周年にむけて」

関西新瀉明訓会平成22年総会が10月3日(土)午後12時30分より大阪府都島区網島町の「太閤園」で開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長が出席。学校からは野本校長が出席され、総勢20名での開催となりました。



本間会長挨拶



出席者全員での記念撮影

懇親会では本部持参の「越の寒梅」もふるまわれ、皆さん時の経つのも忘れ楽しいひと時を過ごしました。終わりに、声高らかに校歌を斉唱し、名残惜しみつつ閉会となりました。その後、有志12名で場所

を変え更なる親交を深めました。関西新瀉明訓会は、来年、設立20周年を迎えます。次期総会は「関西新瀉明訓会設立20周年」記念総会として盛大に行いたいと考えています。現在、事務局で把握し、郵便が届く同窓会員は関西地区に約130名おられるという事です。学生も含

め、まだまだ多くの同窓生が関西地区に居住、定住されているものと思われます。これから一年をかけて更なる会員の掘り起こしを行い「設立20周年総会」を多数の同窓生を迎え、盛大に開催したいものです。昨年、開設した同窓会ホームページや、先頃オープンした交流掲示板なども大いに活用していただき関西地区在住の同窓生にアピールしていきましよう。

(大倉記)

第22回首都圏新瀉明訓会総会・懇親会パーティー開催

平成21年11月14日(土)、首都圏新瀉明訓会第22回総会、懇親会パーティーが開催されました。会場は銀座日航ホテル。エレベーターの扉が開くと、そこは受付。懐かしい女性幹事の方々が、笑顔で迎えてくれました。



秋葉会長挨拶



伴理事長挨拶

「楽しみ」と、ごく自然に幹事をお受けし、お手伝いしてきた私が、故郷新瀉にUターンし、今度は同窓会本部の一員として、出席できることに感慨深いものがありました。一年ぶりの再会に、会場ではあちらこちらで楽しい会話に花が咲く中、新瀉から持参した「母校体育祭」の模様をまとめたDVD(放送部作)が放映され、出席者各自、自らの青春時代と重ね合わせるかのように、見入っていました。

定刻に村上哲昭(昭和46年卒)、奥田まゆ子(昭和46年卒)両氏の司会により総会の始まり。秋葉正樹首都圏新瀉明訓会会長(昭和46年卒)の開会挨拶に続き、公務出張のため欠席の渡辺惇夫会長に代わり児嶋達弘前副会長の挨拶。関西新瀉明訓会本間則男会長の挨拶。欠席の母校校長に代わり渡邊淳一副会長(母校教員)の挨拶。伴昭彦理事長の挨拶。その後の懇親会パーティーでは、長年首都圏・関西新瀉明訓会の発展に多大なご尽力をくださった、児嶋達弘前副会長が副会長を勇退され、後任の首都圏新瀉明訓会担当にとご推挙いただいた私林をご紹介くださった、乾杯・歓談へとまりました。



熊倉由美さんによるジャズタイム

本部から用意の「越の寒梅」を酌み交わしてほろ酔い気分の歓談途中では、ジャズボーカリストの熊倉由美さん(昭和56年卒)によるジャズタイム。おいしいお酒とジャズと美声に会場中が酔いしれたひと時でした。恒例の幹事の景品提供による福引に続き、12月に行われる全国高等学校

駅伝競走大会に新潟県代表として出場の決まった陸上部女子駅伝チームの健闘を願って、支援金を募ったところ、出席された方々から快く、熱い思いのこもった多額の支援をいただくことができました。

終わりに、小林史郎首都圏新潟明訓会副会長(昭和46年卒) 指揮の基、校歌斉唱して中へ。
一年後も元気な姿で再会することを合言葉に散会しました。

(林 記)

トピックス

◎ 明 訓 吹 奏 楽 部

吹奏楽部は、現在1年生19名、2年生13名の合計32名で活動しています。夏の吹奏楽コンクール、秋のアンサンブルコンテスト、春の定期演奏会が主な行事です。「聴いてくださる方に気持ちよく伝わる演奏をする」ことが私たちの毎日の練習を支える合言葉です。吹奏楽部は自分たちの演奏活動の他にも、全校集会での校歌演奏、体育祭や卒業式、中学校入学式での式典演奏、野球部の応援、高校野球県大会開会の行進曲演奏など、活躍の場をたくさんいただいています。それらすべてに対して、少しでもお

役に立てるように、そしてできれば聴いてくださった方が楽しく過ごしてもらえますように、一杯の練習を積んでから演奏することを常に心がけています。特に今年は甲子園での応援演奏を、メディアを通じてたくさんの方々に聴いていただき、たくさんの方々の励みのお言葉やお褒めの言葉を頂戴しました。部員一同大変ありがたく思うと同時に、さらに気持ちを引き締め、練習に励んでいます。

大勢の部員がそれぞれの役割をしっかりと果たしてこそ1つの曲ができるのが吹奏楽です。さ

らに、個人がしっかりとできていても、全員でそろわないと音楽がバラバラになってしまいます。私たち吹奏楽部は音をそろえる前に「気持ちをそろえる」ことがとても大切だと考えています。日常の練習では楽器の演奏はもちろん、友人や先輩、後輩とのコミュニケーション

ョンを大切にこれからもがんばりたいと思います。

さて、このたび新潟明訓高等学校同窓会総会のアトラクションで演奏させていただきました。そして今回は、私たち吹奏楽部のOBのみなさんにも加わっていただき、一緒に合同演奏



吹奏楽部

◎ ダ ンス 部

をすることになっていきます。現在新潟の大学に通っている先輩、大学を卒業して新潟で働いていらっしゃる先輩方です。長い歴史ある明訓高校、そして私たちの吹奏楽部を

支えてきてくれた先輩たちと演奏することは大変うれしく光栄なことです。この機会をあたえてくださったすべてのみなさまに心より御礼申し上げます。



第23回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)
2010年8月4日・5日・6日 於 神戸文化ホール

体育祭



◀応援優勝の黒連合



▲大玉送り競技



◀大縄跳び(中学生)

移転後2回目の新潟明訓中学校・高等学校体育祭。今年の体育祭は、昨年に比べて天候に恵まれず、予定日より1日順延して9月15日に行われました。しかし、生徒の気迫は悪天候に負けず、各連合がより良い体育祭に向かって全力を尽くしていました。そ

の結果、高校「ピンク・青・黒・紫」連合の中で、青連合が総合優勝に輝きました。また、応援優勝は黒連合、競技優勝は青

連合、最優秀連合旗は青連合が勝ち取りました。中学生も高校生に負けず「赤・白」連合の戦いの結果、赤連合が優勝しました。今年の体育祭は、明訓生が普段より一層輝いた体育祭になりました。

平成二年度

明訓祭

平成22年6月12日開催

受賞一覧

☆クラス表現部門

●明訓大賞

3年2組

「門 環境異変」

「革命の果てに」

●教室展示・部門賞

中学3年

「81 Revolutionists」

●教室演劇・部門賞

3年6組

「チカンアカン 俺はやってねえ」

●ステージ・部門賞

3年7組

「3パン7」

●門・中庭アート・部門賞

2年5組

「1571の想いを乗せた飛行船」

☆パネル部門 最優秀作品賞

3年9組

☆リパティスクエア部門

グランプリ

「イケメン エンジェルズ」

☆1年生合唱コンクール

最優秀作品賞

1年1・3組

「君とみた海」

☆1年生 美術作品金賞

1年10組 藤崎玲央

☆1年生 書道作品金賞

1年6組 有田貴裕

「明訓大賞」受賞コメント

3年2組クラス委員長

高橋哲平

「ゴミゴミリ大賞」

みなさん、私ども三年

二組が今年の明訓大賞を

獲得したことをご存じで

しょうか。恐らく知らない

人も多いでしょう。

しかし!!そんな目立た

ない作品にも壮絶なるド

ラマがあるので。…が、

そんなたく

さん書けな

いので、三年

二組の人に聞

いて下さい。

さて、ゴミ

でできた「門

」が大賞を獲

たわけですが、

学校や地域、

そして家庭の

ゴミで作いま

した。私たち

はみなさんに

伝えます。

お金がなく

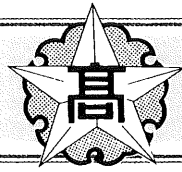
ても大賞獲れ

ます。



「明訓大賞」の3年2組

学 校 高 案 内



進学指導部
国立現役114名達成

最近の入試状況と 本校の概況

昨年度はセンター試験の2年連続の難化と少子化・経済状況などにより、受験生の動向に変化が見られました。特に理系受験生には厳しい点数となり、初めて理系生徒の平均点が文系生徒を下回る結果となりました。特に顕著だったのは、上位大学からの流入が起き、さらに地元志向が強

まったことが地方大学の難化に拍車をかけました。時に新潟大学でも人文・法・教育・理・農・医などと軒並み倍率を上げ、地元占有率も大幅に下がりました。これは安全志向の高まりで、新潟大学では東北大・千葉大などからの流入が増えたためと思われる。また、全国の学部系統の志望傾

過去4年間の合格者推移

国公立大学	2007		2008		2009		2010	
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人
東北	1		6	1			1	1
山形	2		6	1	7	3	2	3
福島	3		1		2		2	
筑波			3	2	4		1	
群馬	2	1	1	1	1		1	
埼玉	3		1	1			1	
千葉	1		2		2		2	
お茶の水		2			1		1	1
一橋								2
横浜国立		1	1		1		3	
新潟	44	4	55	11	56	6	58	9
長岡技術科学	1		2		1		1	
上越教育	2	2	1	1	6			1
富山	1		1	1	3	1	1	
金沢	1		2		3		3	1
静岡			2		2		1	
琉球		1			1		1	
埼玉	1		1		1		1	
高崎	1	1	3		1		1	
首都大	1		1		4	1	2	
新潟県立看護	4		4		3		6	
新潟県立					16	4	15	4
都留文							1	
その他	18	6	28	6	27	5	8	3
小計	86	18	121	24	142	20	114	26
国立合計	104		145		162		140	

私立大学	2007		2008		2009		2010	
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人
獨協	4		7	2	3	1	3	1
文教	7	1	3	3	7	1	12	2
青山学院	5	2	4	3	6	5	1	1
学習院	3		3		2		1	
北里	2	2	5	1	4	1	5	2
工学	4	1	2		5		2	
國學院	2	1	6	2	5		6	
駒澤	11		7	2	8	3	12	3
芝浦工業	2		14	1	6		7	3
上智		4						1
昭和女子	13				4		2	
成蹊	2	2	3	1	6	2	2	1
成城	5		3		4	3	4	1
専修	20	3	18	1	10	3	20	1
中央	12	5	13	6	15	4	20	4
津田塾	1				1		2	1
東京女子	3		3		4	1	1	
東京電気	4	2	3	1	2	2	1	
東京農業	7		2	7	5	1	3	2
東京理	7	3	6	4	5	2	5	
東洋	16		17	3	9	10	10	5
日本	35	3	23	3	37	11	28	15
法政	19	4	10	12	13	11	12	4
武蔵	3	1	3		3	1	2	
明治	10	7	10	7	19	5	13	4
明治学院	4	3	3	1	15	4	8	2
立教	3	4	12	1	11	9	10	6
早稲田	3	4	12	1	10	5	4	2
神奈川	12	2	13		19	4	18	1
新潟薬科	37	5	33	6	36	1	21	
同志社	1		3	2	2	1	4	
立命館	10		13	2	5		3	
関西		1	2		3		2	
西学院	1		2		3		2	
その他	220	35	204	40	196	31	211	62
小計	488	95	462	112	483	122	457	100
私立合計	583		574		605		557	

向は一時期の理系離れに歯止めがかかりました。ノーベル賞の影響からか、理学部・工学部への志望が高まったのは昨年からの同じ傾向です。また、実学思考の高まりで教育・看護医療の気は顕著でした。一方歯学部・薬学部の不人気は昨年同様強まってきています。国立大学では後期廃止の影響が志望動向に大きな影響を与え始めています。後期の定員は前期にそのまま行くのではなく、推薦やAO等に振り分けられる傾向があり、推薦入試などの利用が重要になってきています。本校でも昨年度の国公立の推薦で25名の合格があり、今年度もこの夏休みに志望の意識を強める指導をして参ります。

この要因としては夏休みの頑張り、最後まで諦めない粘りの姿勢を保てたことによると考えられます。現在現役生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思っております。

私大は推薦やAO入試の枠が全体の50%を越え、文科省からその実施について10月以降になるべくするようにとの制限がかけられ、今までの試験を実施しない形から学力も判断基準に入れる傾向が出てきました。センター試験の影響で私大の志願者は中堅どころでセ

ンター試験利用などを中心に増となり、私大の受験地図も少し変化しました。私大も全学部統一日程入試等様々な形をとって受験生の獲得を考えています。しかしながら、こんな時代だからこそ確実に3教科をこなす必要があると思います。また、私大のみ受験でもセンター試験を利用することは絶対条件になりつつあります。また私大の上位の大学でもセンターの4教科・5教科受験を課すところも出てきました。私大も国立型の受験生を欲しいという傾向が出てきたのかもしれない。本校の昨年度の卒業生はこんな状況の中、やや浪人生が増えましたが、国立では健闘し、114名の合格者を出しました。

高校2年I・IIコース 修学旅行

8月上旬の前期夏季補習、そして天下に明訓の名を轟かせた甲子園、さらに後期の夏季補習、まさに密度の濃い忘れえぬ夏でした。休む間もなく8月23日には新学期が始まり、9月1日には待ちに待った3泊4日の修学旅行となり

ました。I・IIコース総勢おおよそ450人、2隊に分かれ、最初の目的地広島へ向かい早朝の新潟を発ちました。今回の修学旅行の柱の一つは平和学習でした。平和な社会に生まれ育った生徒達に、平和の実現には累々たる人間

の犠牲があること、平和は人類が羽交いにして守り続けていかなければならないことを直に学んでもらうことでした。

平和虫園に到着。原爆ドームは、静かに佇み、あたかもあの阿鼻叫喚の熱地獄を虚空に隠し去ったかのようでした。しかし、平和記念資料館に入り、被爆の体験講話を聞き、戦争という狂気がもたらす冷酷残忍さを生徒は直に知りました。生徒は、戦争を引き起こした人間の血に対してはやりきれない憤りを、犠牲

になった方々に対しては深い悲しみを覚えたにちがいありません。そして、戦争という忌むべき行為には人類の英知も友愛もなく、むき出しのおぞましい利己主義、だけしかないという過酷な歴史の現実を脳裏に叩きこんだにちがいありません。

翌日は、北嶺叡山に見守られた古都京都への旅でした。人間の創造精神が輝きを放した都市京都は、まるで山川草木にいたるまで静謐を愛し、風雅を磨いているかのような形而上的な街です。生徒にその一端に触れ、過去と現在をつなぎ、未来の参考にしてもらうのがねらいでした。そのため、宿泊には明訓の定宿である門跡寺院の御殿荘が選ばれました。御殿荘は、京都大学の近くに位置し、銀閣寺や

▲広島市の平和公園



西田幾多郎の哲学の道にも近く、相應しい場でした。酷暑の中の修学旅行でしたが、旅行後のアンケートは良かった。学校という日常を

離れ、旅というやや自由な環境に身を置いた生徒一人一人に何かが見つかっていたことを望んでいます。

部活動報告

—各科目覚ましい活躍—

【運動部】

◎剣道部

《平成22年度春季新潟地区剣道大会》
5月7日～5月8日

鳥屋野総合体育館

・男子 個人

神保 祥太 大塩 和朗
多賀 貢 横山 大佑

・女子 第2位

金山 桃子 川瀬奈菜香
渡辺 真央

・団体男子 第3位

女子 第1位

《第38回 三条杯剣道大会》
4月25日 三条総合体育館

・女子団体 第2位

《第63回新潟県高等学校総合体育大会 剣道大会》
6月4日～6月6日 亀田総合体育館

・男子 個人

第3位 大塩 和朗

北信越大会出場
・女子 個人
第1位 清水希帆子
北信越大会・インターハイ
出場
・男子団体 第3位
北信越大会出場
・女子団体 第2位
北信越大会出場

《48回北信越高等学校剣道大会》
6月18～19日 庄川体育センター

・男子 個人
2回戦敗退
大塩 和朗

・女子 個人
第2位 清水希帆子
・男子団体 ベスト8
・女子団体 第3位

◎陸上部

《新潟市陸上競技選手権大会》
4月24、25日 新潟市陸上競技場

・男子

・円盤投げ 第1位 小岩 晴樹
・砲丸投げ 第2位 渡辺 吾人

《春季新潟・下越地区陸上競技大会》
5月7日～5月9日 新発田市五十公野公園陸上競技場

・男子

・100M 第2位 中沢 史哉
・200M 第1位 大田 醇
・110MH 第1位 大田 醇
・400MH

《第60回中越陸上競技選手権大会》
5月3、4日 長岡市宮陸上競技場

・男子

・100M 第2位 大田 醇
・200M 第3位 大津 祐子

・女子

・200M 第2位 大田 醇
・砲丸投げ 第1位 渡辺 吾人

- 第3位 大木健太郎
- 4×100MR
- 第1位 石崎、大田、田村、中沢
- 4×400MR
- 第1位 山本、荒木、大田、豊島
- 円盤投げ
- 第1位 小岩 晴樹
- 第2位 渡辺 優斗
- 砲丸投げ
- 第2位 小岩 晴樹

- 200M
- 第3位 田村 亮
- 第4位 大田 醇
- 400M
- 第8位 荒木 啓太
- 800M
- 第7位 山本 雄翔
- 110MH
- 第3位 大田 醇
- 第4位 藤嶋 郁磨
- 砲丸投げ
- 第2位 小岩 晴樹
- 第5位 渡辺 吾人
- 第8位 池田 夏史
- 円盤投げ
- 第1位 小岩 晴樹
- 第4位 渡辺 優斗
- 4×100MR
- 第1位 石崎、荒木、大田、中沢
- 4×400MR
- 第3位 山本、荒木、大田、豊島

- 第3位 大津、近藤、寺尾、馬場
- 《北信越高等学校体育大会》
- 陸上競技大会 6月18日～20日
- 東北電力ビッグスワンスタジアム
- 男子
- 110MH
- 第4位 大田 醇
- 砲丸投げ
- 第1位 小岩 晴樹
- 第6位 渡辺 吾人
- 円盤投げ
- 第1位 小岩 晴樹
- 4×100MR
- 第2位 袖山、荒木、大田、中沢
- 4×400MR
- 第2位 山本、荒木、大田、豊島

- 鈴木健太郎
- 800M
- 第2位 山本 雄翔
- 大会新
- 砲丸投げ
- 池田 夏史
- 4×400MR
- 第3位 袖山、荒木、豊島、田村
- 400M
- 第4位 渡辺 晃
- 110MH
- 山崎 駿太
- 400MH
- 大木健太郎
- 男子総合第1位 67点

- (7回コールド)
- 5月2日 対 新潟工業
- 8-0 (7回コールド)
- 《第122回北信越地区高校野球大会》
- 新潟県大会 5月8日～5月11日
- 五泉球場・五十公野球場
- 1回戦 対 糸魚川
- 10-0 (5回コールド)
- 準々決勝 対 帝京長岡
- 7-0 (7回コールド)
- 準決勝 対 高田
- 6-5 (延長10回)
- 決勝 対 十日町
- 4-0
- 優勝

- 優勝
- 《第92回全国高等学校野球選手権大会》
- 8月13日～8月19日
- 阪神甲子園球場
- 2回戦 対 京都外大西
- (京都) 5-3
- 3回戦 対 西日本短大付
- 属(福岡) 1-0
- 準々決勝 対 報徳学園
- (兵庫) 1-2
- ベスト8
- ◎サッカー部
- 《第63回新潟県高等学校総合体育大会》
- サッカー競技大会
- 5月29日～30日
- 新潟明訓高校グラウンド
- ベスト16

- 女子
- 100M
- 第2位 近藤加奈恵
- 200M
- 第2位 大津 祐子
- 第3位 近藤加奈恵
- 400M
- 第2位 馬場 渚子
- 1500M
- 第3位 渡辺 紗英
- 4×100MR
- 第2位 寺尾、馬場、大津、近藤
- 4×400MR
- 第2位 寺尾、馬場、大津、近藤

- 女子
- 100M
- 第7位 近藤加奈恵
- 200M
- 第8位 大津 祐子
- 400M
- 第6位 寺尾 真理
- 第7位 馬場 渚子
- 1500M
- 第6位 渡辺 紗英
- 第8位 山本 咲
- 4×100MR
- 第5位 大津、近藤、寺尾、馬場
- 4×400MR

- 女子
- 1500M
- 第3位 渡辺 紗英
- 以上7種目13名インター
- ハイ出場
- 《第40回新潟県高等学校選抜陸上競技大会》
- 9月18日～9月19日
- 上越市宮陸上競技場
- 男子
- 4×400MR
- 第1位 渡辺、荒木、山本、豊島
- 砲丸投げ
- 渡辺 吾人
- 円盤投げ
- 渡辺 優斗
- 八種競技

- 女子
- 1500M
- 第1位 横山 みわ
- 大会新
- 3000M
- 第1位 横山 みわ
- 大会新
- 1500M
- 第2位 渡辺 紗英
- 3000M
- 第2位 渡部 紗英
- 400M
- 第3位 馬場 渚子
- 計15種目入賞 17名
- 北信
- 越新人大大会出場権獲得

- ◎弓道部
- 《第92回全国高等学校野球選手権新潟県大会》
- 7月14日～7月28日
- 鳥屋球場ハードオフエコスタジアム
- 2回戦 対 新潟東
- 7-0 (7回コールド)
- 3回戦 対 新潟産大付属
- 10-0 (5回コールド)
- 4回戦 対 新津
- 6-1
- 準々決勝 対 新潟
- 11-1 (6回コールド)
- 準決勝 対 中越
- 5-3
- 決勝 対 日本文理
- 11-6

- ◎弓道部
- 《春季新潟・下越地区弓道大会》
- 4月28日
- 新潟市鳥屋野
- 総合体育館弓道場
- 団体男子 準優勝
- (40射中23中)
- 相田・本田・石井・小林
- (裕)・田村・小林(岳)・米田
- 団体系女子 4位
- 個人男子 6位
- 相田 浩史
- 《新潟県高校総体弓道大会》
- 5月29日～31日
- 新津地域学園弓道場
- 団体男子 第5位
- 相田・田村・石井・米田・本田・小林(裕)・小林(岳)

- 《県総合体育大会 陸上競技大会》
- 5月30日～6月2日
- 東北電力ビッグスワンスタジアム
- 男子
- 100M
- 第2位 中沢 史哉
- 第6位 石崎 悠

- 男子
- 4×400MR
- 第5位 大津、近藤、寺尾、馬場
- 4×400MR

- 男子
- 4×400MR
- 第1位 渡辺、荒木、山本、豊島
- 砲丸投げ
- 渡辺 吾人
- 円盤投げ
- 渡辺 優斗
- 八種競技

- ◎野球部
- 《第122回北信越地区高校野球大会》
- 新潟県大会 5月1日～5月2日
- 鳥屋野運動公園野球場
- 5月1日
- 対 白根 7-0

・個人女子
第2位 原 理恵
インターハイ出場

◎テニス部
《春季下越地区テニス大会》
4月27日～4月28日 胎内市
国際交流公園テニスコート
・女子ダブルス
第3位
五十嵐(萌)・五十嵐(理)
優勝 五十嵐理紗
ベスト16 中野 祐子

《県高校総合体育大会テニス大会》
5月28日～30日 南魚沼市
大原運動公園 テニスコート
・男子団体 ベスト16
・女子団体 ベスト8
五十嵐(理)・中野・丸山・五十嵐(萌)・松岡
・女子シングルス
ベスト16 五十嵐理紗
女子ダブルス
ベスト16 五十嵐(理)・五十嵐(萌)

《平成22年度下越地区高校新進テニス大会》8月2日～8月3日
新発田市五十公野公園テニスコート
・男子シングルス
第3位 畠 元太
ベスト16 野村 連
男子ダブルス

第3位 畠・右近
第3位 野村・川島
ベスト16 山田(裕)・山田(峻)
ベスト16 亀村・皆川

《平成22年度下越地区高校新進テニス大会》8月2日～8月3日
胎内市国際交流テニスコート
・女子シングルス
第1位 五十嵐理紗
ベスト16 増田 愉希
齋藤 菜央
早川 舞
ベスト32 遠藤 綾香
・女子ダブルス
第2位 五十嵐・齋藤

《全国選抜高校テニス大会県一次予選》8月18日～8月19日
新潟市庭球場
男子
・第3位 県大会出場

◎バドミントン部
《平成22年度高校1・2年生大会》8月20日 五泉市総合体育館
・1年男子シングルス
ベスト8 阿部 惇朗
・1年女子シングルス
ベスト4 渡辺 望実

◎水泳部
《春季新潟地区水泳大会》5月25日 新潟西海岸公園 市営プール
男子
・100Mバタフライ
第2位 渡部 匠

・200Mバタフライ
第1位 渡部 匠
・100M自由形
第3位 吉田 健人

《新潟県総合体育大会 水泳大会》6月18～20日
新潟西海岸公園市営プール
男子
・50M自由形
第5位 吉田 健人
100Mバタフライ 匠
第8位 渡部 匠
・200Mバタフライ
第4位 渡部 匠
以上3種目北信越大会出場

◎相撲部
《県総体相撲競技大会》6月5日
新潟県立海洋高等学校相撲場
・個人軽量級
第2位 佐々木悠介

◎ダンス部
《第63回 新潟県総体 兼 第23回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル予選会》6月5～6日 新発田市民文化会館
優秀賞(2位相当)

【文化部】
◎将棋部
《新潟県高文連将棋大会》5月8日
新潟県立新潟向陽高等学校
・団体戦
予選
柏崎翔洋 0-3 明訓
新潟工業 1-2 明訓
2勝 予選通過

決勝トーナメント
高田 3-0 明訓
1回戦敗退
・個人戦
小海 佑樹
2勝1敗で予選敗退

◎囲碁部
《高文連 新潟県高校囲碁大会》5月22日～23日
新潟県立新潟高等学校
桑野 有子
全国大会出場(個人)
[7月東京、8月宮崎]
橋本 真帆
全国大会出場(県選抜団体戦)[8月宮崎]

◎写真部
《新潟県高文連写真専門部主催 第14回撮影大会》5月28日～23日
新潟会館 新潟ユニゾンプラザ
撮影地：新潟市街
競技部門
・フィルム部
奨励賞 小口まなみ
[71点中12点以内]
・デジタル部
奨励賞 山本なるみ
[123点中18点以内]

◎放送部
《第57回NHK杯 全国高校放送コンテスト新潟県大会》6月17日 新潟市音楽文化会館
アナウンス部門
第3位 平 響
第5位 松井 怜子
朗読部門

第2位 唐沢 愛里
第3位 小柳 芽衣
第5位 石山 史奈
第6位 相馬 裕佳
ラジオドキュメント部門
第3位
「ちか子18才で考えたこと」
テレビドキュメント部門
第2位
「デスクエイク」
以上は、7月22日～24日の全国大会に出場
(平成6年から17年連続)
ラジオドラマ部門
第3位
「漫画禁止法制定」

《第57回NHK杯全国高校放送コンテスト》7月21日～24日
東京都NHKホール
朗読部門
入選 唐沢 愛里
入選 小 芽衣
(全国で592人参加中の上位60人に入賞)

《第34回全国高等学校総合文化祭 宮崎大会》8月4日～5日
宮崎市清武町文化会館
・オーディオピクチャー部門
優秀賞
「終わりのなき追悼」
(全国上位4作品に与えられる賞)

◎書道部
《第15回全日本高校・大学生書道展》8月24日～29日
大阪市大阪市立美術館
・優秀賞 佐藤 観月
古川 玲

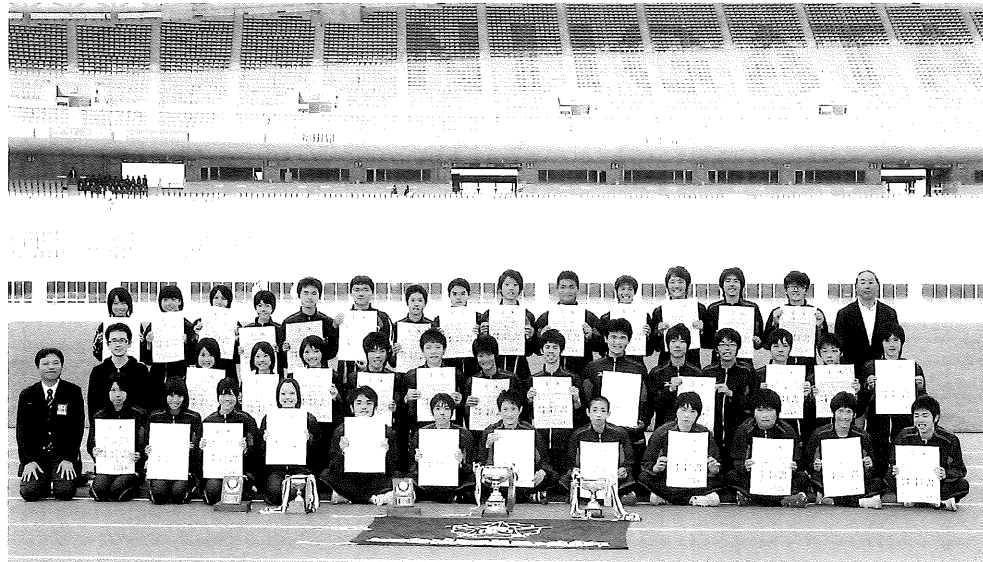
◎演劇部
《新潟県高等学校 下越地区演劇発表会》9月24日～26日
胎内市産業文化会館
・優秀賞
[Be Mour Tough!]
(上位3位作品に与えられる賞)
新潟県大会出場決定

全国大会への道

陸上部

陸上競技部部长 大田 醇

我々、陸上競技部にとって今年インターハイは不本意な成績となった。今年も県大会、北信越大会と順当に勝ち進み、インターハイでは全国の強豪たちと肩を並べるところまでできていた。インターハイなどの全国大会でここまで



平成22年度 新潟明訓高等学校陸上競技部
平成22年6月2日 東北電力ビッグスワンスタジアム

7年連続で入賞するという輝かしい実績を受け継いでของทีมであったが、全てが予選落ちのインターハイとなってしまった。
なぜ、結果を残せなかったかと考えると、選手一人ひとりの力の差よりも行動面の差が大きかった。全国上位入賞の選手は当たり前前のことを確

実に丁寧に行っている。もちろん我々も行っている。しかし、行えるようになってきただけであり、日常化できていないことの差が大きな差となり明暗を分けたように思う。先輩が後輩に伝え、さらに後輩が次の世代へ伝え、受け継がれていく良き伝統が少しづつ薄れてきたことが今回の敗



力投する池田投手

昨秋のインフルエンザ禍をはじめ多くの試練を乗り越えて甲子園ベスト8を果たしてくれた選手たち。しかし何よ

り、豪雪の折、学校近隣地域の除雪を率先して手伝った部員たち、そんな明訓生たちと共に過ごした日々こそが宝物

野球部

初の甲子園ベスト8進出!!

部長 波間 一孝

因であった。
幸い、今回の沖縄インターハイの道程には多くの1、2年生の活躍があったこともあり、来年、再来年と繋がる大会だったと思う。後輩たちには、今年の悔しさをバネに来年以降、インターハイで大暴れしてもらいたい。

最後に無名だった我々を全国で戦えるまでに成長させて下さった金子先生、深瀬先生、さらに、日々の練習を切磋琢磨しながら頑張った先輩、後輩、仲間また応援して下さいました。ありがとうございます。

に感じられます。
野球が強くなることはもちろんですが、人として、また集団として、同窓会の皆様にも誇りに思っていただけのような、母校野球部でありたいと思います。
この夏の暖かいご支援ご協力に心より感謝申し上げます。有り難うございました。

主将 田村 昌大
甲子園ベスト8、ここまでこられたのも、そしてここまで野球を続けられたのも、周りの人たちの支えがあったからだと思えます。感謝の気持ちでいっぱい입니다。この経験を生かし、今後の人生に役立てたいと思



晴ればれしい校歌が甲子園に響き渡る

囲碁部

桑野有子

囲碁を始めてから半年も経たない初心者、初めての全国大会。勝つ事は目標とせず、棋力のレベルアップと楽しむ事を第一に戦ってきました。囲碁を通じて、色々な県の人と交流することが出来て良かったです。



写真部

全国高文祭に出品して

写真部は8月1日~5日まで、宮崎市で行われた第34回全国高等学校総合文化祭・宮崎大会の写真部門に部員7名、顧問2名で参加してきました。今年の宮崎大会では撮影会が競技の形式で行われ、会場の青島こどもの国では海

を臨むリゾート施設で南国の風景をカメラに納めました。残念ながら、提出した作品は入賞とはなりませんでしたが、新潟とは違う風景をカメラに納めることができたのは収穫でした。また、講演会では写真家の桑原史成氏の「水俣」「韓国」というドキュメンタリー写真を見ることができました。このジャンルの作品は高校生が普段撮ることのないため、大変参考になりました。そのほか、交流会や写真展を通し、全国の高校写真部の生徒と交流ができ、大変有意義な大会となりました。



美術部

全国大会に出場して

桑野里惟

今回、全国高等学校総合文化祭宮崎大会に参加して、様々なレベルの高い作品に出会い、私は多くのことを学びました。また、改めて自分の作品と向き合うことができたので、今後の制作に活かし、さらに自分らしい良い作品を作っていきたいと思えます。



放送部

NHK全国放送コンテスト 全国高文祭に出場して



終身会費納入者御芳名

(敬称略)

平成二十二年八月三十一日現在

木村直登	梶澤智貴	加藤美佳	加藤郁	大島悠	江口叶基	伊部公裕	伊藤文	磯部愛華	石田千尋	石崎雅之	五十嵐諒	阿部朱夏	青木悠	1組(44名)	平成22年卒 全日制61回	児玉幸仁	粉川結衣	小林暖佳	古俣亮	齋藤紘香	齋藤友香莉	坂井紀代実	坂井智之	佐々木省悟	佐藤春香	佐藤里紗	佐藤優果	佐藤智哉	坂井耕太郎	齋藤夕彌子	小山千尋	小山詩広	永原悠貴	中野嘉聡	中田はづき	永井裕太	豊島湧大朗	鶴巻優	鶴巻貴大	塚田恵	茅原和栄	玉木夢美	岩船尚樹
伊藤樹里	阿部俊也	明田川篤志	2組(42名)	和田友里	吉田直矢	横山裕久	山口祥子	本間千晴	本田未来	本田郁恵	堀智宏	古山貴章	野澤美奈	行方次郎	中山絢葉	中村史華	喜多佑加里	小関彩美	小林絵里	小山晃尚	小山詩広	永原悠貴	中野嘉聡	中田はづき	永井裕太	豊島湧大朗	鶴巻優	鶴巻貴大	塚田恵	茅原和栄	玉木夢美	岩船尚樹	上松沙織	浦澤木綿	永島涉	大久保孝則	高山綾	高橋義輝	関谷凜太郎	白鳥晶子	渋谷陽平		
田中萌	高橋亜美	高居裕樹	鈴木貴大	菅仁美	白井友美	佐藤優果	佐藤智哉	坂井耕太郎	齋藤夕彌子	小山千尋	小山詩広	永原悠貴	中野嘉聡	中田はづき	永井裕太	豊島湧大朗	鶴巻優	鶴巻貴大	塚田恵	茅原和栄	玉木夢美	岩船尚樹	上松沙織	浦澤木綿	永島涉	大久保孝則	高山綾	高橋義輝	関谷凜太郎	白鳥晶子	渋谷陽平	井浦利栄	石井真理子	伊藤智教	伊藤寛人	今村円香	伊藤寛人	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香			
淡路大輔	安住祥	3組(42名)	横山明子	増井くるみ	本間未夢	堀内奏也	細貝祐太	保志名紘輝	藤木瞳	中村健人	永原悠貴	中野嘉聡	中田はづき	永井裕太	豊島湧大朗	鶴巻優	鶴巻貴大	塚田恵	茅原和栄	玉木夢美	岩船尚樹	上松沙織	浦澤木綿	永島涉	大久保孝則	高山綾	高橋義輝	関谷凜太郎	白鳥晶子	渋谷陽平	井浦利栄	石井真理子	伊藤智教	伊藤寛人	今村円香	伊藤寛人	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香				
安藤大志	4組(41名)	渡邊雄太	渡邊雄太	大和弘明	山田悠太	本山義史	藤田菜摘	中野彩美	永井隆文	富田敬士	辻みらい	津澤卓	田村美穂	田崎光	竹内香穂	高山綾	高橋義輝	関谷凜太郎	白鳥晶子	渋谷陽平	井浦利栄	石井真理子	伊藤智教	伊藤寛人	今村円香	伊藤寛人	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香	伊藤甲志郎	岩村麻生	内山栞	遠藤拓也	永井勇祐	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香						
板垣大樹	5組(42名)	吉田康紀	吉田雅之	八巻摩耶	森秀樹	森敬	間野大貴	松田隆宏	本多忠浩	堀川大輔	古山眞伊	藤村誠	長谷川真俊	野村朋貴	野中大地	西倉一矢	永井勇祐	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香	伊藤甲志郎	岩村麻生	内山栞	遠藤拓也	永井勇祐	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香	伊藤甲志郎	岩村麻生	内山栞	遠藤拓也	永井勇祐	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香							
武田一貴	高山秀実	高橋俊宏	白井聖太	志村照恵	島田美咲	志田拓人	佐藤由季	佐藤駿	笹川雄斗	櫻井祥広	小林弘典	小泉広大	黒崎貴之	菊地拓	大橋大河	大竹輝	遠藤拓也	内山栞	岩村麻生	伊藤甲志郎	岩村麻生	内山栞	遠藤拓也	永井勇祐	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香	伊藤甲志郎	岩村麻生	内山栞	遠藤拓也	永井勇祐	長井貴之	戸田敬太	土屋真衣香								

6組 (44名)	吉岡史則	山本大輝	山崎大地	宮崎裕人	松原ゆか	本田卓也	穂満大樹	藤本曜	平原由紀	羽貝友樹	拜野紗生子	西正浩	中山穂高	中村太亮	中島賢志	永井渉太	津野麻未	千田裕也	種橋瞭	田中泉	
	塩谷卓人	佐藤祐佳	佐藤奏太	佐藤浩希	齋藤里菜	兒玉雄大	小嶋健太	窪田瞳	木村香歩	神田朋子	上村千尋	加藤佑惟	風間夢	大澤恵	大岡幸司	岩瀬裕美	今湊良祥	今井草一郎	石井千晶	五十嵐万貴	相場裕未
	山賀祐弥	諸橋琴子	森田真弘	水野貴盛	眞谷顕祐	本望孝周	穂坂恭平	廣川檀	野本祐里子	野澤美由希	二宮恭平	中村麻美	遠山太郎	田中綾華	高橋翔	曾我好花	關根大果	鈴木あずさ	菅谷直美	霜鳥みずき	島岡慶太
	齋藤英斗	小柳悠未	倉田奈津美	轡田右	久住華世	神田耕弥	川上真紀	金勝舞子	音田優多	小柳修平	小野塚美優	白杵円佳	岩崎竜太	今津晴高	井藤祐太朗	板谷絵里	池田祐実	荒関拓人	7組 (45名)	吉倉佳那	山上雅之
	廣瀬琳子	平松早紀子	樋口夕記	西村優輝	中野伸也	長井明日香	露崎かほり	茅原玄道	滝上祐介	高橋洋介	高橋クロエ	高橋かすみ	須貝恵	茂野千夏	佐藤由美子	佐藤美樹	佐藤志保子	佐藤さおり	笹川夢帆	齋藤芳輝	齋藤由里
	酒井佑輔	近藤弥生	小林花衣	古寺俊	国分千花子	窪大輔	久下綾	木村早希	神邊晟佑	乙川裕喜	大島晶子	岩田優美	五十嵐将大	安達雄太郎	8組 (47名)	渡邊和隆	吉澤壽代	山本政樹	皆川雄嗣	松田彩	細谷由希
	長谷川雅人	長谷川彩織	野尻健太	名塚雪乃	永田杏里佳	長沢利紀	中澤智恵	中川広貴	劔吉紀	田村莉菜	田村彩	高松慎	高橋瑞希	曾我香織	諏訪間佑輝	新保春花	渋川真純	佐藤佑美	佐藤由季	櫻井達見	坂口世称
	神林良輔	川瀬量子	萱森早紀	片出翔吾	風間祐樹	稲垣典	石井恵	青木優	9組 (42名)	鷺澤拓人	山我浩史	宮本拓哉	南直斗	皆川恵美	丸山智美	牧野敬広	牧口倫也	真柄伸彬	平井茜	林由香	塙岳暁
	成海恵一	内藤俊基	鳥居梓	寺田明広	手塚有輝	立川理穂	田崎大地	瀧澤諒平	高橋康輔	高澤弥生	曾我沙也加	鈴木佑未	佐藤理央	佐藤麗	佐々木貴弘	齊藤翔月	小日向由章	小杉修平	小島彰太	栗原雅史	久代裕一郎
	大河原暁人	江畠弥生	岩崎貴央	今井步	阿部大地	青木俊太	間悠介	10組 (43名)	渡辺成吾	渡辺育実	六角次郎	山口大輔	山口麻沙実	保田景祐	八木春樹	宮腰弘康	星俊光	比企康子	早川結花	橋本直幸	野澤大

同窓会ホームページと交流掲示板

昨年8月に同窓会ホームページを開設しました。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

また、この9月末にホームページ内に「交流掲示板」を開設しました。このサイトは明訓同窓生の情報交換の場として大いに活用していただけるものと期待しています。

<http://www.niigata-meikun.ed.jp/dousokai/index.html>

大谷 洸介	大野 峻也	小熊 溪音	小田島 大智	金安 宏誠
川崎 梨菜	川村 佳範	北澤 啓一郎	木津 啓太	草間 昭宏
久保田 伸	古俣 智也	坂田 沙也香	佐藤 拓哉	佐藤 拓哉

品田 祥太	新保 和志	平 尚悟	田岡 悠央	土佐 玄太
-------	-------	------	-------	-------

西崎 潤平	西澤 信幸	箱岩 寛晶	長谷川 賢太郎	馬場 翔太
林 貴大	本間 健太	本間 巨	宮島 大樹	八木 翼

平成21年度

終身会費納入状況

全日制61回生 433名

2,165,000円

会務報告

一、会議

(一) 総会

平成21・10・17(土) 16:00

於 新潟東映ホテル

(二) 常任委員会

平成21・12・15(火) 18:30

於 ホテルイタリア軒

- ・常任委員構成の再検討及び増員について、総会の出席者増員対策
- ・陸上競技部 女子駅伝チームの全国大会出場への賛同募金について再度のお願い
- ・ホームページ同窓会専用ブログの設定について協議

平成22・6・29(木) 18:30

於 ホテルイタリア軒

- ・平成22年度 総会開催に向けて協議

(三) 正副会長会議

平成21・10・10(土) 18:30

於 新潟東映ホテル

- ・平成21年度 総会開催運営について協議

平成21・11・19(木) 18:30

於 新潟会館

- ・総会運営についての反省会
- ・陸上競技部 女子駅伝チーム全国大会出場募金活動について協議

平成22・2・15(月) 18:30

於 ホテルイタリア軒

- ・同窓会歓迎会及び卒業式について協議

平成22・4・14(水) 18:30

於 新潟会館

- ・平成22年度 総会開催運営について協議

平成22・6・4(金) 18:30

於 新潟会館

- ・常任委員会・総会開催について協議

安田 将司	山田 佑紀	渡辺 瑞姫
山田 真太郎	若林 諒平	渡辺 亮太

平成22・9・15(水) 18:30

於 新潟会館

- ・常任委員会・総会開催について協議

二、その他

平成21・10・3(土) 12:30

於 大園閣

- ・関西新潟明訓会総会・懇親会が開催される
- ・本部より渡辺会長、児嶋・大倉両副会長の3名出席、学校側より理事長と野本学校長の出席をいただく

平成21・11・14(日) 12:30

於 銀座日航ホテル

- ・首都圏新潟明訓会総会・懇親会が開催される
- ・本部より児嶋前副会長、渡邊(淳)副会長、林副会長の3名、関西新潟明訓会より本間会長が出席、学校側より理事長の出席をいただく

平成22・2・15(月) 18:30

於 ホテルイタリア軒

- ・学校の同窓会担当教職員の方々の新年懇談会

